金太郎だより

2026年9月20日号

社会福祉法人 金太郎の家
〒699-0501
出雲市斐川町学頭 1511 番地 1
0853-72-5110
0853-72-5192
honbu@kintarounoie.jp
「金太郎の家」
「金太郎の家」
「金太郎の家」
で検索！！

新入り後期高齢者の覚悟

理事長　阿食　かをる

実は私、この年6月に後期高齢者の仲間入りをした。二十代で老人福祉にかかわるようになり、四十代で金太郎の家を立ち上げたが、その間折に触れて「高齢者の問題をもっと引き寄せなくても、老いは私問題として考えよう」などと言ってきた。ところが、気が付けば、引き寄せなくても普通にやっていた足元にあった。体のどこそこに不具合を覚えるようになり、もう少し前まで普通にやっていた徹夜の仕事もできなくなった。眠い。鏡を見ればため息をつき、しわ取りクリームの宣伝に見入っている。無駄だと知りながら、それでもアンチ・エイジング、何とか少しでも若くと切ない努力をしている。「若く美しくあること」に何よりも価値を置く今の社会はおかしいと豪語しながら、いつの間にかこの風潮に翻弄されている自分がいる。

そんな折、先頃亡くなった岸恵子さんが訳されたセルジュ・ブロック『パリのおばあさんの物語』という絵本に出会った。少し引用したい。

「おばあさんは、鏡をのぞき込み『なんて美しいの』とつぶやく。目の周りには、楽しく笑い興じたしわ、口の周りには歯を食いしばって悲しみに耐えた無数のしわ、しわ、しわ、しわ、いとおしいしわ。」そしてもう一度若くなってみたいと思いませんかの問いに、彼女は決然とこう答える。「私にも若い時があったのよ。私の分の若さはもうもらったの。今は年を取るのが私の番。」ユダヤ人である彼女の旅は厳しかった。彼女の旅はこころ優しくもあった。「もう一度同じ道をたどってどうするの?だって私に用意されたのは今来たこの道一つなのよ。」私は衝撃を受けた。私のいただいた人生に対する甘さ、冒涜を恥じた。

人類が希求してきた長寿社会は現実となった。人生百年の時代をどう生きるか、人生後半の歩みが大きなテーマとなっている。老後の生き方を描いた本も多数出版されている。

しかし、幸いなことに私は、施設職員という役得で、戦中戦後を生き抜き、自らの道を愛でながら前を向いて歩んでこられた素敵な方々にたくさん出会わせていただいている。

日々の感動をノートに書き留めておられる方、毎月皆のためにちぎり絵を作り持ってきて下さる方、パッチワークの大作を仕上げられる方、病や障害と闘いながらリハビリに励まれている方等々。

私も『パリのおばあさん』のように、また当法人をご利用の皆様のように、自分の歩んできた道を（後悔もないではないが）愛でながら、若さのみにとらわれることなく、老いと折り合いをつけながら、残された道のりを真摯に堂々と歩んでいきたい。

そして、法人としては、この長寿社会を生き抜かれる方々の、歩んで来られた道のりに思いを馳せ、皆様のこれからの日々がより充実したものになるよう全力を挙げて支援していきたい。

『 フレイル予防と出雲弁コンサート 』

8/29（土）、れんげ草の会主催で、出雲市立中央図書館で、フレイル予防とユメノカタチＡＫＩＲＡさんによる出雲弁コンサートが行われました。１２０人を超える方が来て下さり、大盛り上がりでした。また、ひかわ図書館では利用者様の作品展示を行いました。それぞれの素敵な作品が並びました。

吉岡節子様 作 「 金太郎の家　朗道 」▶

金太郎の家をイメージした手作りのタペストリーを寄贈いただきました。

手前には本館と麦の家、奥には別館、空には飛行機が飛ぶ斐川平野の風景が再現されています。

先日のひかわ図書館いろいろ美術館にも展示させていただきました。

Let's BBQ !!!

6月に麦の家では、BBQ と題して、炭火で焼いたお肉や野菜を利用者の方に提供しました。

ベランダで肉を焼いていましたがお昼が近づくにつれて美味しそうな匂いが施設内に広がり、食べる前から「お腹が減りました」と声が聞こえてきました。

初めての試みでしたが「美味しかった」「またやってほしい」と嬉しい声をたくさんいただきました。

東部保育園　交流会

6月23日、デイサービスでは東部保育園ひまわり組の子どもたちと交流会を開催しました。

はじめに、子どもたちが歌を披露し、みんなで「グーチョキパーでなにつくろう」の手遊びをしました。その後、玉入れをして盛り上がりました。また、利用者様手縫いの雑巾をプレゼントしました。

明るくかわいらしい子どもたちとの交流にパワーをもらい、笑顔があふれる楽しい時間となりました。

東部保育園の皆様に感謝申し上げるとともに、またこのような機会があることを楽しみにしています。

金太郎倶楽部

日本一短い「母」への手紙

8/7（金）、

福井県丸岡町が作られました“日本一短い「母」への手紙”という本では短い文章で「母」に向けて書かれた手紙が多数掲載されています。金太郎倶楽部のメンバーもそれぞれの「母」を思い出しながら手紙を書いてみました。

どんな事を書こうか考えている時や、職員が代読している時には涙ぐむ方もおられ懐かしい思い出に浸る温かい時間となりました。

心を打つ作品を一部ですが紹介させて頂きます。

・85歳に成って、この頃、お母さんお母さんと呼んでる。1日に何回もお母さんお母さんと呼んでいるこの頃。いやな事があっても良い事があってもお母さんを呼んでいる

・お母さん　いつも私を頼りにしてくれてありがとう　私は何事も　お母さんのために　一生懸命でした

・修学旅行のブラウス　はじめて新しいの　買ってもらい嬉しかったよ　いつもはお下がりばっかり

・お母さん　元気な子供にそだててもらって有りがとうね　95歳になりました

・お盆が来ました。暑いですね。でもニューギニアで父さんと二人なら何でも楽しんでいるでしょ。私もよんでネ。

金太郎畑より

今年もたまねぎがたくさん育ちました。麦の家では、初の試みで、利用者様、家族様と一緒に収穫しました。販売に際して、ご購入いただきました皆様には感謝申し上げます。

令和７年度社会福祉法人金太郎の家 決算状況（単位：円）

事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	164,104,763
		老人福祉事業収入	265,000
		就労支援事業収入	6,297,626
		障害福祉サービス等事業収入	88,155,466
		経常経費寄附金収入	368,000
		受取利息配当金収入	213,824
		その他の収入	775,808
		事業活動収入計	260,180,487
	支出	人件費支出	196,083,088
		事業費支出	30,480,913
		事務費支出	11,322,685
		就労支援事業支出	6,329,079
		支払利息支出	347,594
		その他の支出	69,900
		事業活動支出計	244,633,259
	事業活動資金収支差額		15,547,228
	収入	施設整備等補助金収入	371,000
		固定資産売却収入	272,911
		施設整備等収入計	643,911
	支出	設備資金借入金元金償還支出	6,768,000
		固定資産取得支出	5,696,547
		固定資産除却・廃棄支出	9
		施設整備等支出計	12,464,556
	施設整備等資金収支差額		△11,820,645
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	4,500,000
		その他の活動収入計	4,500,000
	支出	積立資産支出	7,100,000
		その他の活動支出計	7,100,000
	その他の活動資金収支差額		△2,600,000
当期資金収支差額合計			1,126,583
前期末支払資金残高			64,502,034
当期末支払資金残高			65,628,617

※詳細な計算書類等は金太郎の家ホームページにおいて開示しております。

《金太郎の家 なごみ川柳会作品》 ～R8.9月

兼題「投げる」「歯」・自由吟

投げたならどこ迄届く貴方まで　福岡　マサ子

土俵際歯を食いしばり堪えてる　金森　武夫

秋風にちょっと初恋思い出す　原　明子

北風の中老いても夢を持つ　吾亦　紅

投げやりにならないように日々生きる　見越　千工子

漬物は歯が悪くても手が伸びる　坂本　章江

辛くても自分の道はまだ半ば　三島　道夫

失ったものを数えて日が暮れる　嘉藤　敬

百一才深いシワこそ道しるべ　西　博美

思い切り哀しみ投げて空仰ぐ　松本　文子先生

悪ばな、近況報告、相撲甚句以外で、歌の歌詞と川柳は通じるものがあるようで、最近はまっている歌など話題にされ、皆さん楽しそうです。「これいいよ！」と紹介し合っては、ダウンロードして皆さんで批評したり歌ったりしている川柳会です。氷川きよし♪ほろ酔い酒、秋元順子♪愛のままで、杉本真人♪吾亦紅も出てきて、特に、小林幸子♪雪椿は、皆さん大好きです。皆さんで大合唱中！　（西）

令和８年熊本地震 DWAT 活動報告

令和８年７月 28 日、熊本県で地震があり、大きな被害がありました。金太郎の家では募金活動をするとともに、９月中旬より DWAT として２名の職員を派遣しました。

以下、派遣職員による報告です。

DWAT とは災害派遣福祉チームのことです。介護福祉士等の福祉有資格者で構成され全国各地から派遣されます。

今回、熊本県宇城市を中心に 4 日間活動を行いました。小中学校の避難所を訪問し、避難生活における困り事や日常生活におけるケアに関する相談対応を行いました。避難所には要配慮者を含む 20 世帯 40 名以上の方がいらっしゃいました。看護師チームやリハビリ支援チームと連携を取りながら、要配慮者を介護保険申請等の行政サービスに繋げることができました。

宇城市内は家屋倒壊等の被害が大きく、テレビで見た被災地の状況を目の当たりにしました。支援物資は届くものの処理しきれず、留守宅狙いの空き巣や不審者の発生も課題です。その中で、被災者の方は不安を口にしながらも、日々家の片づけ等に取り組んでいらっしゃいます。

今回の活動を通して、有事の際にお互い助け合える繋がりがあるということは素晴らしいと感じました。少しでも誰かの力になれるように自分にできることを尽くしていきたいと思います。

一日も早い復興とみんなが笑顔で過ごせる日が戻ってくることを強く願います。　（田中）

苦情解決報告　苦情件数１件

ケース①

申出者 ： 通所サービスご利用者　様

事例 ： 利用日だが、迎えが来ない。

対応 ： 謝罪の上、状況を確認すると、利用予定表作成の際、以前のデータを複製したが、修正せずに使用していることが判明しました。

今後は、ダブルチェック体制を強化し、再発防止に努めることと致しました。

金太郎の家 花の便り　彩り豊かな フラワーアレンジメント

デイサービスでは、花を頂戴し、個性豊かなアレンジメントをしました。

お知らせ

- 6/2 （火）令和８年度第１回理事会を開催しました。
- 6/9 （火）第三者委員会を開催しました。
- 6/10 （水）令和８年度評議員選任解任委員会を開催しました。
- 6/23 （火）令和８年度定時評議員会を開催しました。
- 7/17 （金）火災避難訓練を開催しました。

御礼

◆有限会社旭養鶏舎様より卵をいただきました。
◆株式会社フクダ様に草刈りをしていただきました。
◆ご利用者様、ご家族様、地域の方々より多大なる寄附及び季節の野菜や花々等、差し入れていただきました。感謝申し上げます。

◆サンロードなかまち火災義援金　計３１，２３１円
9/9（水）斐川社会福祉法人連絡会より出雲市役所様を通して義援金をお渡ししました。
ご協力ありがとうございました。

ＪＫＡ様より送迎用車両を助成いただきました！

令和８年９月17日、公益財団法人ＪＫＡ様より助成を受け、送迎用車両「フリード」を整備しました。ＪＫＡ様は競輪、オートレース事業を運営する団体です。

車両整備によって、集いの場を利用される方が安全に快適に乗降して頂くことが出来るようになりました。これから送迎や外出にたくさん活用したいと思います。助成いただきましたＪＫＡ様には、厚く御礼申し上げます。

食費の値上げおよび自主事業料金改定のお知らせ

当法人では、すべての食事を手作りにて提供致しておりますが、食材費や諸経費の高騰により、令和８年９月１日より、食費を値上げさせていただきます。それに伴い、自主事業サービスの利用料金を改定致します。

今回の改定で利用者様のご負担が大きくなってしまいますことを心よりお詫び申し上げるとともに、ご理解をいただき、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人金太郎の家　食費の改定

サービス名	変更前	変更後
通所介護	日額　650 円	日額　750 円
麦の家（生活介護・就労Ｂ）	日額　600 円	日額　700 円
日中一時支援	日額　600 円	日額　700 円

社会福祉法人金太郎の家　自主事業の利用料金の改定

サービス名	変更前	変更後
集いの場	１回　1,800 円（昼食、送迎費込）	１回　1,900 円（昼食、送迎費込）
有償デイサービス（月～土曜）	１日　3,000 円（昼食、送迎費込）	１日　3,100 円（昼食、送迎費込）
有償デイサービス（日曜）	１日　4,000 円（昼食、送迎費込）	１日　4,100 円（昼食、送迎費込）
延長デイ利用時夕食代	１食　500 円	１食　600 円
配食弁当	１食　600 円	１食　700 円